

ひの 議会だより

No. 130

令和3年11月

発行/鳥取県日野町議会



日野に生きる

第5回 椎茸栽培三代記 ～技術をつなぐ、人をつなぐ～

裏表紙に記事を掲載しています。

主な内容

- ・ 9月定例会／補正予算、条例改正、人事P2～4
- ・ 臨時会／補正予算、建設工事請負変更契約の締結P5
- ・ 令和2年度決算審査特別委員会/審査報告P6～8
- ・ 一般質問（5人）P9～13
- ・ 議会常任委員会活動報告P14～15
- ・ 特集 日野に生きる「椎茸栽培三代記」P16

義務教育学校日野学園の 先行改修費に3億円

一般会計補正予算

8億4186万円を増額し、
総額が41億8223万円になりました。

主な内容

- 林業用施設災害復旧事業
【専決処分】 13万円
・林道大井呑線の倒木撤去
- 農業用施設災害復旧事業
【専決処分】 290万円
・本郷水路災害復旧工事の測量設計委託
- ・小河内地区農道災害復旧工事の測量設計委託
- 義務教育学校建設事業
3億162万円
・令和5年開校の義務教育学校日野学園の校舎建設で、不足する教室を増築と改修で確保する。改修部分の財源見通しが立ったことから余裕をもって開校を迎えるために改修部分を先行して着工する。
- オシドリ観察小屋移転費用 101万2千円
・オシドリ観察小屋の移転に係る新築工事設計業務委託
- 町内飲食店等応援給付金事業 400万円
・当初見込みより対象事業者が増えることから増額補正を行う。
- 農業用施設災害復旧事業（補助分） 1360万円
・本郷水路災害復旧工事、小河内地区農道災害復旧工事への補助金
- 橋梁修繕事業 5412万8千円
・公共施設等長寿命化を図る。黒谷一号線・二号線の断面修復、神明橋の橋脚修復、大町橋の舗装打替え工事

9月定例会

主な質疑

義務教育学校建設事業

議員 義務教育学校設立について、根雨小学校の校舎の大規模改修にかかる費用3億162万円の財源の大半が町債、いわゆる借金となっていますが。

課長 現在、県と国に補助金の相談をしています。まだ正式に交付決定がされていませんので過疎債として予算には計上しています。決定次第、財源を振り替えると考えています。

議員 総事業費が10億円、とも聞いていますが、本当に必要な事業だと思われるのでしょうか。規模の見直しの考えはありませんか。

町長 今はまだ詳細設計の段階であり、全体の事業費は正確には決まっていません。総事業費が10億円という認識はありません。



現根雨小学校の校舎を改修

議員 10月のシンポジウムで説明することですが、先に予算案を通してから住民に事業費の説明をするのでは順番が逆では。

町長 10月のシンポジウムで説明したいと思っています。

議員 費用の上限についてはどう考えていますか。

課長 財源については、内々示を国からいただいたところですが、過去の実態を見ますと、改修については、最大2億円の55%、つまり1億1千万円の補助が出る予定。今後の増築についてもほぼ同一と考えています。



討

論

●反対討論

義務教育学校建設事業における根雨小学校既存部分の改修工事の3億162万円は、概算10億円の義務教育学校建設総事業費を小出ししながら、事業の推進を図ろうとしているものです。

現存の日野中学校と根雨

小学校の両校舎を活用することで義務教育学校の機能を果たすことは十分に可能です。概算10億円の費用を費やしてまで施設一体型にする必要はないと考えます。江府町では既存校舎を活用して施設分離型義務教育学校を開設することです。

施設一体型の必要性和効果の具体的な説明がなく、投資効果が疑われます。

●賛成討論

義務教育学校については

町民の皆さまからも施設一体型の学校で進めることを認識していただいています。

議会でも設計予算等を含め、一体型で進める流れできています。

この度の補正予算は、令和5年4月の開校を目指し、児童生徒の迷惑にならないよう、早期着工のための予算の組み方をされています。

この義務教育学校は子どもたちの夢であり、子どもたちは期待をしています。時間をかけていると開校に間に合いません。



廃校予定の日野中学校

国民健康保険 特別会計補正予算

251万円増額

主な内容

○財政調整基金積立金

・令和2年度分歳計剰余金
が確定したため、当初財政
調査基金から取り崩す予定
で予算計上していた基金操
入金を皆減し、調整後の額
を基金に積み立てることと
する。 251万円

介護保険 特別会計補正予算

2735万円増額

主な内容

○過年度負担金等返還金 (国・県)

1560万5千円

○介護給付費準備基金積立

1174万9千円

後期高齢者医療保険 特別会計補正予算

21万円増額

主な内容

○広域連合納付金

・令和2年度の出納整理期
間中に収納された令和2年
度普通徴収保険料について
後期高齢者医療広域連合に
納付する。

簡易水道特別会計補正予算

515万円増額

主な内容

○消費税納付

・令和2年度消費税(確定)
及び令和3年度消費税
(予定納付)

375万4千円

○黒坂地区簡易水道施設取

水井洗浄等

162万6千円

条例の一部改正

主な内容

○日野町個人情報保護条例 等の一部改正

・個人番号カードの再交付
に係る手数料に関する規定
等を削除する。

○過疎地域における固定資 産税の課税に関する条例の 一部改正

・過疎地域自立促進特別措
置法が失効し、新たに過疎
地域の持続的発展の支援に
関する特別措置法が制定さ
れたことに伴う規定の整備
をする。

○日野町議会委員会条例の 一部改正

・「重大な感染症のまん延
防止の観点等から参集が困
難と判断される場合には、
オンラインによる委員会を
開催できる」という旨の文
を追記する。

人事

主な内容

○生田求氏を日野町教育長に任命することについて議会の同意を求める。

賛成7 反対0 無効2

賛成多数で同意されました。

・任期は、令和3年9月27日から令和6年9月26日までの3年間

○人権擁護委員候補者として山川洋介氏を推薦したいので、議会の意見を求める。

賛成9 反対0

賛成多数で適任と認めることに決定しました。

・任期は、令和4年1月1日から令和6年12月31日までの3年間

採

決

令和3年 第9回日野町議会定例会（9月）議案採決	中山法貴	梅林敏彦	山形克彦	金川守仁	松尾信孝	中原信男	安達幸博	佐々木求	竹永明文	採決
専決処分の承認を求める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
建設工事請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
日野町個人情報保護条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
日野町過疎地域持続的発展計画の策定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和3年度日野町一般会計補正予算(第7号)	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
令和3年度日野町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和3年度日野町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和3年度日野町後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和3年度日野町簡易水道特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和2年度日野町一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
令和2年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
令和2年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
令和2年度日野町後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
令和2年度日野町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
令和2年度日野町公共下水道特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
令和2年度日野町農業集落排水事業歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
日野町議会委員会条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
新型コロナウイルスによる米危機の改善を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

9月定例会



7月の大雨で被害を受けた 水路、農道、林道などの復旧

一般会計を622万円増額

- 旧山陰合同銀行根雨支店耐震診断 99万8千円
- ・保存及び活用について協議するため耐震診断を実施し、必要な情報を収集する。
- リバーサイドひの修繕 110万円
- ・エアコン修繕
- ・自動火災報知設備の修繕
- 林道朝刈線改良事業 △200万円
- ・大雨の被害により全体事業費を再検証する必要がある。本年度は土質試験のみを行うこととなり、計画と予算を変更する。
- 黒坂地区農道路肩災害復旧工事請負費 100万円
- 榎市地区水路法面災害復旧工事費補助金 32万円
- 三谷地区法面崩壊復旧事業 220万円
- 下菅水路災害復旧工事請負費 200万円

主な内容

一般会計補正予算

主な内容

建設工事請負変更 契約の締結

- デジタル防災行政無線施設整備工事の工期を延長
- ・板井原地区での工事中に自噴した水について処理を県と協議する必要がある。工期を延長する。

採決

臨時議会に付議された2議案は全員賛成で可決されました。



被害を受けた黒坂地区農道（小河内）

令和3年

臨時会

8月4日

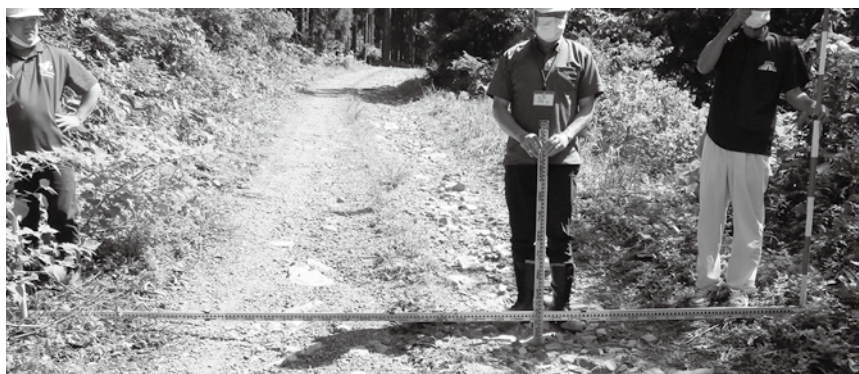
一般会計補正予算

主な内容

- 森林環境税関連事業 250万円
- ・林業専用道朝刈1号線法面災害復旧工事請負費
- しっかり守る農林基盤交付金事業 200万2千円
- ・林道朝刈線災害復旧工事請負費ほか
- 林業用施設災害復旧事業 180万円
- ・林業専用道朝刈1号線災害復旧工事請負費

採決

臨時議会に付議された1議案は全員賛成で可決されました。



林道朝刈線災害復旧工事

決算審査 特別委員会

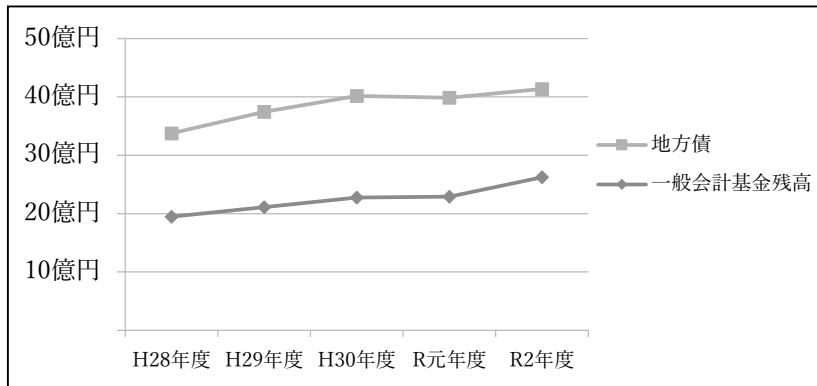
決算審査

一般会計 歳入総額 4,166,880,340円

一般会計 支出総額 3,952,318,466円

賛成多数で認定

一般会計基金残高（町の貯金）と地方債（町の借金）の推移



議会は令和2年度一般会計及び特別会計の決算審査特別委員会を設置して9月3日～9月24日までのうちの7日間、審査をした結果、賛成多数で認定しました。

※決算審査特別委員会とは、例年9月議会において、前年度の決算を審査するために編成される特別委員会です。本町議会では、議長と議会選出の監査委員を除く8名の議員で構成され、予算の執行の結果について町長および各担当課より説明を受けて質疑し、その妥当性を審査します。そこでの議論は翌年度の予算の編成や審議に大いに参考となるものです。

決算審査

討

論



●反対討論

例年のように同和対策事業関連の予算が執行されて

います。同和行政のこうしたやり方が、決して真の差別の解消にはならないことが実証されています。

2002年に同和対策特別措置法が失効して以後16年間、根拠なき支出が行われ、「部落差別解消推進法」の制定に至りました。が、事業の終了日を具体的に示したものではありません。このままでは住民の大きな負担が継続するものであり、決して容認できるものではありません。住民代表の一人として、社会正義にきちんと向き合うことが私たちの使命と考えます。

差別解消の第一歩として、同和対策事業の終結こそが求められており、次年度予算に向けた最大の課題であることを述べ、令和2年度決算の認定について、反対の討議とします。

●賛成討論

令和2年度においては、新型コロナウイルスの感染

が全国に広がる中、その対応に追われながらも住民サービス向上のためさまざまな事業が実施されております。中でも、コロナ対策事業として、特別定額給付金事業や、地域応援商品券事業などが遅滞なく効果的に行われました。また、根拠地区浸水対策事業や庁舎非常用発電設備更新など、安心・安全なまちづくりがさらに進められたところで

す。財政面についても、実質交際費比率が6.0%と、財政の健全化はより一層進みました。

また、同和関係事業に関しては、平成28年12月施行の「部落差別解消推進法」の趣旨に添いながら、本町では、部落差別の解消に取り組まれました。

以上の観点から、決算審査特別委員会の審査報告のとおり、令和2年度決算の認定について、賛成の討論とします。



審査報告

1 審査事件

令和2年度日野町歳入歳出決算認定について

2 審査対象

(1) 令和2年度日野町一般会計歳入歳出決算
(2) 令和2年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
(3) 令和2年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算
(4) 令和2年度日野町後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算
(5) 令和2年度日野町簡易水道特別会計歳入歳出決算
(6) 令和2年度日野町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
(7) 令和2年度日野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算

3 委員会の開催状況

令和3年9月3日、6日、13日、14日、15日、21日、22日の7日間

4 審査結果

(1) 結果
賛成多数で認定すべきものと決定した。

(2) 理由

一般会計及び6特別会計の決算について、提出された関係書類を基に審査を実施した。審査にあたっては、担当課からの聞き取り、また、必要に応じて資料の提出も求め審査した。その結果、一般会計決算書、特別会計決算書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書の計数は正確であり、予算執行も適正に行われているものと認められた。

5 会計ごとの所見

(1) 一般会計

決算では、翌年度へ繰越すべき財源2536万1千円を除いた実質収支が、1億8920万874円と黒字決算で概ね良好である。

① 歳入に関する事項

調定額42億6427万7956円に対し、収入済額41億6688万3400円で収納率は97・72%で、前年

度と比較してわずかではあるが上回った状況となっている。

収入未済額（未納額）は9739万7616円で、前年度と比較して924万9497円増加しているが、未納額の中にはコロナ特例の徴収猶予額が含まれており、その内訳は、法人町民税で135万5000円、固定資産税で1455万円である。その徴収猶予額を除いた収入未済額は、8149万7116円であり、前年度と比較すると65万1003円の減となっている。

未納額の内訳を見ると、町税が2906万5200円、住宅使用料306万4313円、住宅新築資金等貸付金5276万6533円、災害援護資金貸付金1249万2250円などとなっている。

未納額の大半を占める、住宅新築資金等貸付金、災害援護資金貸付金の未納額は前年度より減少しているものの、依然として多額である。町税では、個人町民税において、前年度より滞

納者が減少し徴収率も上がっている。また、固定資産税においても、コロナ特例の徴収猶予額を除くと、滞納者数、滞納額とも減少している。

今後も町長以下職員が丸となつて、未納者個々の実態把握と新たな未納者の抑制など、細心の対策を講じながら未納額の徴収に努められたい。

② 歳出に関する事項

歳出では、主に事業の執行状況、効果等について審査を実施した。

主な事業としては、特別定額給付金事業や地域応援商品券事業などのコロナ対策事業、根雨地区浸水対策事業、庁舎非常用発電機設備更新事業、日野病院組合一部事務組合負担金、起債償還、基金積立などが挙げられる。

予算現額47億3389万5千円に対し、支出済額は39億5231万8466円、翌年度繰越額5億881万7千円で、翌年度繰越額を予算現額から除いた執行率は95・33%であった。

不用額は1億9355万9534円と多額であり、当初予算を編成する際にあつたては、予算の査定の段階から十分精査をされたい。

また、事業実施の際には、財源の確保を図るとともに、予算執行にあたっては最小の経費で最大の効果が得られるようさらに工夫されたい。

③ 財産に関する事項

財産に関する調書及び定額運用基金の運用状況について正しく認められる。財政調整基金、公共施設等長寿命化基金をはじめとする基金総額は、26億2316万5千円と増加しており評価できる。

(2) 特別会計

① 国民健康保険特別会計

決算での実質収支は、685万692円で、概ね良好である。

歳入の状況は、調定額3億5341万1817円に対し、収入済額は3億3192万8634円、収入未済額は2148万3183



円、徴収率は93・92%となっている。国民健康保険税については、現年度未納額は大幅に減少したが、滞納分未納額はわずかが増加している。徴収についてさらなる努力をされた。

歳出の状況は、支出済額3億2507万7942円、不用額9235万4058円で、執行率は77・88%となっている。

② 介護保険特別会計

決算での実質収支は、3292万411円となっている。

歳入の状況は、調定額6億6019万5145円に對し、収入済額も同額で、収納率は100%で評価できる。

歳出の状況は、支出済額6億2727万4734円、不用額8692万5266円で、執行率は87・83%となっている。今後もしきい百歳体操など介護予防の取り組みを推進するとともに給付費の抑制を図りたい。

③ 後期高齢者医療保険特別会計

決算での実質収支は、21万9000円で、概ね良好である。

歳入の状況は、調定額5365万844円に對し、収入済額も同額で、収納率は100%で評価できる。

歳出の状況は、支出済額5343万9944円、不用額313万7056円で、執行率は94・46%となっており、概ね良好である。引き続き適正な事務処理に努められたい。

④ 簡易水道特別会計

決算の状況は、必要額を一般会計から繰り入れしているため、実質収支は0円である。

歳入の状況は、調定額7739万6651円、収入済額7700万4831円、収納率99・49%となっており、概ね良好である。収入未済額は39万1820円と昨年より増加しており徴収に努められたい。

歳出の状況は、支出済額7700万4831円、翌

年度繰越額3986万7千円、不用額182万1169円で、繰越額を除いた執行率は97・69%となっており、予算執行は概ね良好である。

今後もの管理に努められたい。

⑤ 公共下水道事業特別会計

決算の状況は、必要額を一般会計から繰り入れしているため、実質収支は0円である。

歳入の状況は、調定額2億3646万5651円、収入済額2億3633万7461円、収納率99・95%の状況であり、概ね良好である。収入未済額は、12万8190円、新規滞納者が2件発生しており、徴収に努められたい。

歳出の状況は、支出済額2億3633万7461円、翌年度繰越額1023万9千円、不用額1110万3539円で、繰越額を除いた執行率は95・51%となっており、予算執行は概ね良好である。

今後も町民生活の向上を

図るため、加入促進と適正な維持管理に努められたい。

⑥ 農業集落排水事業特別会計

決算の状況は、必要額を一般会計から繰り入れしているため、実質収支は0円である。

歳入の状況は、調定額3899万9286円、収入済額3894万6円、収納率99・85%の状況であり、概ね良好である。収入未済額は5万9280円と昨年度より若干ではあるが増加しており、徴収に努められたい。

歳出の状況は、支出済額3894万6円、不用額41万8994円で、執行率は98・94%となっており、予算執行は概ね良好である。

今後も町民生活の向上を図るため、適正な維持管理に努められたい。

6 地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定による財政健全化判断比率について

4 指標の内、実質赤字比率、連結実質赤字比率は、

いずれの会計も実質収支が黒字となっており、基金の積み立ての増加などにより、マイナス数値となっており問題はない。

実質公債費比率についても、早期健全化基準の25・0%を下回る6・0%であり、年々健全化に推移している。

しかし、地方交付税に依存している本町は、国内情勢により大きく左右されるため、より一層の創意工夫と危機感をもって予算執行にあたられたい。

本委員会において、上記のとおり決定したので報告します。



審査報告をする委員長





中原 信男議員

Q 倒壊の危険がある空き家対策を問う

A 近隣市町村の取り組みを参考に

倒壊の危険がある空き家について

議員

現在、町部と山間部を問わず、倒壊の危険がある空き家があります。周辺住民の保安上の危険及び生活環境への悪影響などさまざまな問題があります。特定空き家等除去支援事業補助金制度を創設し、空き家対策の推進を目指してはと考えます。

町長

長年にわたり放置されていた空き家については、現状のままでは撤去を進めるのは難しいと思われ、近隣の市町村の取り組みなどを参考にしながら、考えてまいりたいと思います。

議員

解体、撤去した後が数倍になる現行の税額の軽減制度は考えられませんか。

町長

住宅用地の固定資産税の減免措置につ

きましては、制度設計した市町村、またそうでない市町村の対策の空き家撤去の進み具合等の情報収集をするなどして検討したいと思っています。

太陽光発電について

議員

下榎地区の休耕田を活用した太陽光発電施設が民間会社により施工され、発電事業が行われています。日野町においても、太陽光発電を推進してはと考えます。

町長

脱炭素化社会再生可能エネルギーへの

転換の観点からも、太陽光発電は水力発電や木質バイオマス発電と並んで一つの有力な選択肢と考えております。

議員

将来的に、日野町の公共施設での太陽光発電を推進してはと考えます。

町長

第2次きらり日野町創生戦略、過疎地域持続的発展計画のなかで脱炭素化の推進をうたっており、太陽光発電も有力な方法と考えています。



太陽光発電（下榎）



空き家が解体撤去された土地

Q 森林振興計画策定を

A 4つの観点を定義する



安達 幸博議員

町長 整備計画は、伐採、造林、保育など森林の整備に関する基本的事項や森林施業方法を設定しています。森林、林業、林産業のための振興計画は今年度中を目標に策定します。

議員 日野町森林整備計画の概要と、仮称日野町森林整備実施計画策定の考えをお聞きいたします。



森林組合の作業風景

町長 4つの観点をしっかり定義づけしたいと思っています。

議員 その計画に森林環境譲与税の使途、大径木に特化した主伐の時期、伐採技術、搬出の技術、貯木場の整備、販路・加工などの戦略、林道専用道路にも災害復旧の補助ルールづくり、地元の自然や生産、生業の魅力を未来に伝えることを目的とした木育授業を記述してほしいです。

議員 義務教育学校増改築は木造建築にしませんか。

町長 内装につきましては木材利用を進めたいと考えておりますので、今後、校舎建設検討委員会において、保護者や地域、学校の意見も伺いながら検討してまいりたいと思います。

議員 CLT構造なら3階建ての校舎は可能

です。文部科学省も木材建築を奨励し、補助金加算もあるようです。

仮に木材を使うとすると、日野町産の伐採木の選定、伐採、乾燥、製材を考えると、1年はすぐにたちます。早い決断が必要です。

町長 木材製品の確保も、昔に比べたらもう少し機敏に迅速にできるようになっていきます。技術革新もできておりますが、留意事項だと思っています。



学校施設等のCLT活用事例
(文部科学省HPより)





竹永 明文議員

Q 教育長の人選の現状と見通しについて

A 9月定例会に提案する

議員 教育長が未だ不在であり、令和5年4月義務教育学校開校に向けて課題と危機感についてお聞きします。

町長 議員のおっしゃりますように令和5年4月の義務教育学校の開校に向け、数々の課題に対処しながら進めていかなければ危機感だけが先行してしまい、一刻も早く体制を立て直し、教育行政を取り巻く環境整備等をはじめとする課題に対応し、遅滞する

ことなく前へ進める必要があります。9月定例会最終日までに提案できるような現在調整を進めているところでございます。

黒坂地区の振興の考え方について

議員 黒坂小学校の跡地の活用だけでなく、黒坂地域の振興を第一に考えて、進めていくべきであると思うが。



黒坂の町

町長

現状の変化、そういったものも織り込みながら、跡地の活用であったり、また、跡地とは別に黒坂全体の振興のことも考えるような会合も持っておりますので、そういう御提案、御意見をまとめていきたいと思っております。

コロナ禍における行事開催のガイドライン策定は

議員

町民の皆さまが行動される際のガイド



常態化したマスク着用

ライン、会合やイベントを実施される際のガイドラインを策定すべきではないか。

町長

町独自のガイドラインは作成せず、鳥取県のガイドラインに準拠した行動、判断を町民の皆様にお願したいと考えています。このことは、県・町で異なった基準を示し、混乱を招くことを避けるためでもあります。



Q 高齢化する猟友会の負担軽減対策を

A 焼却場の地元との話し合いを持つ



梅林 敏彦議員

**解体後の埋設作業は
あまりに過重ではないか**

議員

日野町猟友会には、農地や農産物を守るために日夜尽力していただいています。しかし、捕獲した猪や鹿を解体した後、骨、皮、内臓などは猟師さん個人が山や原野の地面を掘って埋めておられ、これが大変過重な労働となっています。全国の多くの自治体ではごみ焼却場で焼却する方法を取っていますが、日野町でのこれまでの経緯を伺います。



解体後は地面を掘って埋めなければならない

町長

くぬぎの森の建設当初において、地元との間で「動物等の死骸は受け入れない」ことで合意しています。しかし、猟師さんの負担軽減のために何かの対策を講じるべきと考え、検討しているところです。

議員

もちろん地元の住民の皆さんの意見は最大限尊重しなければなりません。くぬぎの森の建設当時は猪の生息数が極めて少ない時代でした。それから28年たち、もう一度、現在の状況を

説明する機会を持たれてはどうでしょうか。

町長

この施設は日野郡三町衛生組合が管理しております。毎年開催される組合と地元との意見交換会の席で、この処理問題を議題に取り上げることになると思います。

焼却以外の方法を考えているか

議員

くぬぎの森で焼却



地域の要請があれば、直ちに駆けつけます

する以外の方法についてはどんな対策を考えていますか。

町長

パール缶に保管して町外の施設に運んで焼却してもらおう、あるいは微生物によって分解するという新しい施設も全国的には始まっていますが、





佐々木 求議員

Q 子供をコロナから守るために全力を

A 体制を構築しています

子供たちを守る体制作りが大切

議員

12歳以下の子供にも感染が拡大しています。県内の感染状況はどうですか。保小中の子供に係わる方のワクチン接種は済んでいますか。家庭内感染が危惧されています。対応に、簡易な検査と補助は必要ではないか。

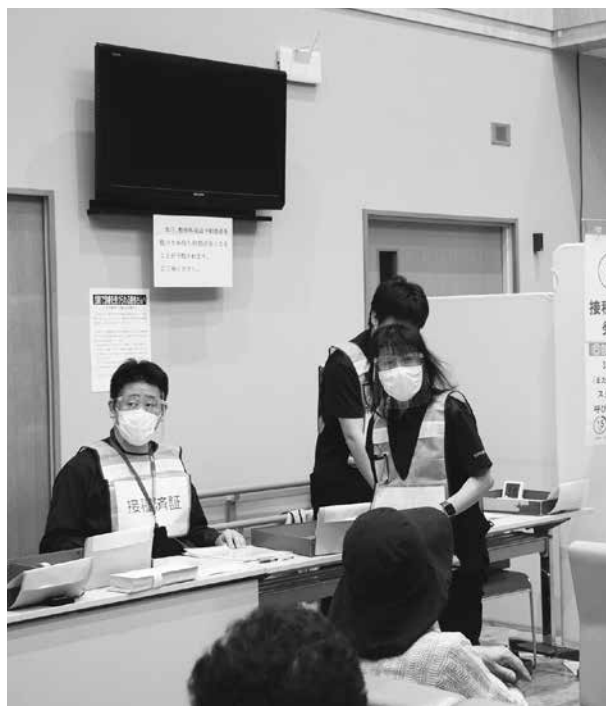
体調不良の子供さんが出た時、家庭・学校・病院などの連携が非常に大

事になります。どう周知徹底していきますか。

町長

10歳未満の子供の感染割合が急増し、7月は5.5%が8月は11.4%と倍増。児童間の感染も複数確認されています。

保・小・中に関わる保護者・職員は、希望者全員の接種が終了しています。家庭内感染の防止は、重症化のリスクのある場合、原則早期入院。無症状・軽症者は、症状を評価し、宿泊療養・自宅療養に。在宅



家庭・学校・病院などで連携してコロナ対策を

議員

4月の国会で全会一致成立した法律により、ダムの下流域の協議会を作り、国に意見を上げられるようになります。

防災対策を急げ

療養者には、酸素飽和度計測器を全戸配布し、訪問看護師・保健所・保健師による24時間健康サポート体制も構築されています。PCR検査の補助は考えていません。



水害対策に護岸の整備が必要

町長

緊急放流を行う際は予告連絡が町長・日野振興センター・黒坂警察署・下流域自治体・米子県土整備局・JRに入ります。ダム洪水調節機能強化に向け、治水協定などを協議しています。

した。線状降水帯による大雨を想定した護岸の整備が必要です。日野川流域の協議会では、どういう検討がなされていますか。



委員会報告

総務経済

常任委員会

猟友会との意見交換会
(令和3年7月28日)

町猟友会の白石会長ほかのメンバーをお迎えして開催し、猟友会よりは以下の問題が提起されました。

(1) 後継者の問題

かつては50〜60名いた会員も、今や37名。しかも実際に活動できるのはもっと少なくなっている。後継者の確保が喫緊の課題。

(2) 捕獲後の処理の問題

捕獲個体はくめぎの森で

焼却可能にしてほしい。ジビエ肉の処理施設を町内に設置してほしい。
(本件は今議会の一般質問でも取り上げられました。12ページ参照)

町内交通のあり方について
日本交通との意見交換会
(令和3年9月7日)

本年4月に過疎・人口減少下における町民の足の確保のために町内タクシー運行が町営化されました。実際の運行を委託されている日本交通の山本さんと町営化後の諸問題について意見交換をしました。

山本さんから、以下の問題提起がありました。

(1) 修理や部品発注等に役場の規則が適用されるため、時間がかなり効率的でなくなつた。

(2) 近隣町への乗り入れに関し、先方の事業者との取り決めがうまくいっていないため途中までしか行けず、特に日南町方面の利用者に不便が生じている。

委員会報告

これらは町営化、すなわち役所の事業、白ナンバーに伴う問題点として提起されたものであり、行政(町)の積極的かつ迅速な対応が求められる事案です。本事業は今後の過疎化・人口減に対応する地域交通のあり方についての実証実験の面が大きく、本委員会としても住民の足確保、住民福祉の向上の見地から、引き続き運行事業者、利用者(住民)、担当課などと協議を続けながら取り組んでまいります。

教育

常任委員会

教育委員会との意見交換
(令和3年8月12日)

義務教育学校設立について進行状況の説明を受けて現状認識をすることとした。

すでに「日野学園」と学校名も決定し、正式に町民の皆さまにも公開されています。開校は令和5年4月を予定とされていることで、教育長代行の頭本委員長代理のもとで開校に向けての検討委員会の意見をまとめ、教育課と連携して進められているとのことでした。

9月定例議会で生田求氏の教育長任命に同意しました。今後のご活躍に期待します。

当委員会は、現状認識を正確に把握しながら将来のわが町のかじ取りを「きらい日野町創生戦略」に合わせ、実現を目指すことが重要だと考えています。

すでに「日野学園」開校までのタイムリミットは27ヶ月となっています。

9月の全員協議会で現状説明を実施、10月初旬には義務教育学校フォーラムを開催されるということです。

この議会だよりを読まれる頃には、すでにフォーラムは終わっていると思いますが、「チャンネルひの」の過去の放送で確認できると思いますので、ぜひご覧ください。

また、当委員会は10月12日火曜日に、企画課が主に進めている小学校・中学校跡地利用検討委員会との情報交換を実施します。

その模様は次回の活動報告に詳細を記載しますので、ご参照いただければ幸いです。



会報 議広

常任委員会

紙面刷新について
ご意見をお寄せ下さい

『ひの議会だより』の執筆・編集を担当しているのは、議会広報常任委員会に所属する6人の委員です。

当130号は、9月議会開催中の9月15日に第1回編集会議を開き、最終校正後の原稿を印刷所に渡す10月25日まで、約1か月かけて完成させたものです。

過去数号において、「より読みやすく、より分かりやすく」という編集方針を掲げて紙面刷新を心がけてきたつもりですが、読者の皆さまにはどのように映っているでしょうか。ご感想、ご意見などお寄せいただければ幸いです。

鳥取県町村議会議長会では、毎年、広報委員向けの研修会を実施しています。通常は委員全員が参加するのですが、今年はコロナ対策のため、委員長と副委員長、それに議会事務局長の3人で参加することになりました。

研修会では、専門家による講義の他、各町村議会発行の広報誌のコンテスト結果が発表されます。我が日野町議会は第128号を出品しています。結果と批評内容は、次号でお知らせします。

策のため、委員長と副委員長、それに議会事務局長の3人で参加することになりました。

議会改革

推進特別委員会

町民アンケートの実施について

本年12月議会終了後に町民アンケートを実施することを決定しました。今回は、平成30年以来3年ぶりのアンケートになります。

議会で中継が始まり4年目となりますが、今年からは全員協議会での予算審議も議会で中継しています。議会中継などに関する町民の皆

さまの声をあうかがいしたいと思います。アンケート用紙は、来年2月に配布予定の議会だより131号と一緒に配布いたしますので、ご協力をお願い申し上げます。



全員協議会

出かける議会について

当委員会では、「議会活動の見える化」と「出かける議会」を目指して活動に取り組んでいます。

出かける議会については、昨年から新型コロナウイルス感染症の拡大により、各種集会・行事の開催が中止または自粛される状況であり、開催が進んでいません。「出かける議会」については、コロナの状況や町民アンケートの結果を見ながら進めていきたいと思っています。議会との意見交換会等の開催希望がございましたら、議員または議会事務局へご相談、お申込みください。

意見書の提出

日野町議会は、以下の2件の意見書を内閣総理大臣はじめ各大臣に提出しました。

- ・「新型コロナウイルスによる米危機の改善を求める意見書」
- ・「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」

西部町村議会議長会 自治功労者表彰受賞

小谷 博徳議員

町村議会議員として通算18年以上在籍し、町議会活動に功労されました。
(令和3年9月6日)



ご案内

○チャネルひので議会議中継がご覧いただけます。
一般質問は、議員別に録画視聴ができます。
QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ればご覧いただけます。
ぜひ、お試しください。





取材記事
シリーズ!

日野に生きる

第5回 椎茸栽培三代記 ～技術をつなぐ、人をつなぐ～

この『日野に生きる』は、日野町に住む人々の暮らしと想いをテーマにお届けする連載です。

三代記というと、親子・孫の事業継続物語を思い浮かべがちですが、我が日野町では、まったくの他人が椎茸産業を次々と継承していく物語が進行しているのをご存知でしょうか。

一代目・久代宏一さん

黒坂に生まれた久代宏一さん（79歳）が椎茸栽培に手を染めたのは、高校を卒業した18歳の年。しかしそれは趣味としての栽培で、販売することなど考えてもいませんでした。

ところが、中国への輸出が解禁となり、椎茸は飛ぶように売れ始めました。

「家を建て替えたよ（笑）。町の椎茸生産組合は組合員が50人にも膨れ上がった」

椎茸栽培歴60年の久代さんの功績の数々は、ここでは書き切れないほどです。

しかし、やがて椎茸の市場価格は下落。生産組合の会員も今や6人に激減。

そんな時代に久代さんに弟子入りして来たのが、大学院でこの研究に没頭していた当時25歳の若者、廣瀬俊介さん（明石市出身・現34歳）でした。

二代目・廣瀬俊介さん

久代さんの下で修業を始めた廣瀬さんは驚きます。

「2人で植菌したほど木が2000本になった時、これ、全部お前にやると言われた。太っ腹ですよ」

しかし、椎茸が生えてくるのは植菌して2年後。毎年植菌しても、収入が安定するまでには5年かかる。「だから、最初の5年間は、昼は椎茸、夜はレストランでバイトしていました」



椎茸産業のスマート化は進むか？

そして今、日野町の椎茸産業は廣瀬さんによって新展開を見せようとしています。スマート化です。

町内外の椎茸農家や米農家と連携して大型機械を導入し、使われなくなった建物を活用して植菌作業の拠点化を図り、林業会社が伐り出した原木を購入してほだ木の増産を図る・・・

こうした構想がリアルな形となろうとしている現在、パートナーとして育ちつつあるのが、坂田龍之介さん（東京出身・30歳）です。

三代目・坂田龍之介さん

東京の寿司屋の息子を日野町での椎茸栽培へと結びつけたのは、日野町役場の地域おこし協力隊募集のホームページでした。

「募集内容がホントかなと思うくらい自由な感じで惹かれました」

大師匠の久代さんに就いて植菌作業を経験した後、新師匠の廣瀬さんに就いて収穫作業、そして町有林でほだ場作りと、スムーズに現場に溶け込めたそうです。

3年目の今年は品質においても売れる商品になってきたと自負できるまでになったとか。

「今、米子の高級レストランに冷凍椎茸を卸しているけど、これをさらに広げていきたい。」

三代記はこれからまだまだ続きます。

「忘れてならないのは温故知新」と大師匠の久代さん。60年の栽培歴から沸き出た弟子への忠告の言葉です。

あとがき

一日の寒暖の差が大きくなってきました。

やがて、燃えるような紅葉に埋め尽くされることでしょう。高齢者は体調を崩しやすい季節です。どうかお気をつけください。

国政は新しい内閣も決まり、選挙に向けた流れが一気に過熱しています。私たちの暮らしや健康・景気などしっかりとやっていただきたいものです。

私たち議員が町民の皆さまにできることを、どれだけその責任を果たしてきたか。いつも反省しながら編集する私ですが、今年もわずか、少しでも前進できたと言えるよう年末まで頑張りたいものです。

（記 佐々木 求）

議会広報常任委員会

委員長 梅林 敏彦

副委員長 中山 法貴

委員 佐々木 求

委員 中原 信男

委員 松尾 信孝

委員 金川 守仁

